

7月14日：VN指数は反発

VN指数は0.7%高の1,182.17ポイントで取引を終えた。VN30指数は採用銘柄のうち、およそ3分の2が上昇した。

同指数は前日0.9ポイント下落していたが、本日は8.25ポイント上昇した。

ホーチミン市場の売買代金は5%減の10兆9,700億ドン（4億6,840万米ドル）であった。

VN30指数は0.41%高の1,221.94ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、21銘柄が上昇した。主な値上がり銘柄は、カンディエン不動産（KDH）+4.1%、サイゴン証券（SSI）+3.9%、ベトナムラバーグループ（GVR）+2.9%、ペトロベトナムガス（GAS）+2.6%、ベトインバンク（CTG）+1.7%であった。その一方で6銘柄は下落した。主な値下がり銘柄は、モバイルワールド（MWG）-1.6%、ビンコムリテール（VRE）-0.8%、テクコムバンク（TCB）とホアファットグループ（HPG）は-0.4%であった。

外国人投資家は、モバイルワールド（MWG）、サコムバンク（STB）、ベトインバンク（CTG）を中心に、合わせて1,460億5,000万ドンを買い越した。

ハノイ市場のHNX指数は1.20%高、UPCoM指数は0.11%高で取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。